

呼吸器外科

《概要》

当科は、主として肺、縦隔、胸壁などの外科疾患を担当している。当院は呼吸器外科専門医認定機構の基幹病院である。泉佐野市、貝塚市、泉南市、阪南市、熊取町を中心に南大阪、泉州地域の住民に対し、呼吸器外科医療を質の高いレベルで提供することに努めている。

呼吸器外科専任スタッフとして、2011 年も、昨年同様、急な人事異動があり、年度当初は、部長、桂浩の1名でスタートとなった。外科スタッフの協力のもとに診療を継続し、7月に医長として、泉大津市民病院より別所俊哉が赴任し、再び2名体制となった。また同月から、病棟再編により、従来の7階海側から8階海側へ主病棟の移動があった。しかし、看護スタッフを中心とした病棟、肺腫瘍内科、診断・治療放射線科、病理・生理機能を中心とした臨床検査科、外来Bブロック、麻酔科を中心とした中央手術部、事務などのスタッフの協力体制により、引き続き、ほぼ全患者さんにクリニカルパスを用いて、高品質で均一な医療提供に努めることができた。

《実績》 2011年1月1日～12月31日

疾患	症例数
肺癌	35
転移性肺腫瘍	12
縦隔腫瘍	1
炎症性肺疾患	0
膿胸	0
嚢胞性肺疾患（含 気胸）	12
胸部外傷	0
その他の呼吸器手術	9
全手術総数	69
胸腔鏡下、または併用手術	56
手術死亡	0

参考) 手術死亡（術後30日以内死亡）：0.4%（2009年全国調査、肺癌例）

【主要施行術式】

- 肺全摘術： 1例（残存肺摘除例）
- 肺葉切除： 27例（気管支形成術併用1例）
- 肺区域切除： 5例
- 肺部分切除：18例
- 気胸手術： 12例（原発性4例、続発性8例） など

《業績》

（1）学会研究会報告（2011.4～2012.3）

番号	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	薬剤溶出ステント留置後の冠動脈疾患合併患者に対して呼吸器外科手術を施行した症例の検討	和泉和幸 尹 亨彦 桂 浩	第28回日本呼吸器外科学会総会	2011.5.
2	左下葉無気肺を伴い呼吸不全を呈した横隔膜弛緩症に対して胸腔鏡下横隔膜縫縮術を施行し有効であった1例	和泉和幸 尹 亨彦 桂 浩	第34回日本呼吸器内視鏡学会総会	2011.5
3	非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブ投与前の少量経ロステロイド+抗生剤内服併用による皮疹への影響について	森山あづさ 倉田宝保 和泉和幸 桂 浩	第9回日本臨床腫瘍学会	2011.7